

ぐんぐん学力アップの集計結果より

新しい年を迎え、たいへん寒い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。日頃から本校教育にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、本校では月1回生活チェックノートにより、家庭学習を含めた家庭生活の振り返りを行っています。そして、継続して生活チェックを行うことにより、子ども達の学習時間を確保し、子どもの学力アップにつなげたいと考えています。

今年度の4月に行われた、6年生の児童を対象の全国学力・学習状況調査の児童質問紙の調査結果からも、本校児童の家庭学習の時間が短かったという課題があります。

この結果と『ぐんぐん学力アップ』の集計結果を考察し、学校での対応を考えることにより、今後の園和北小学校の児童の学力向上に努めていきたいと考えています。



2. 学年ごとの考察

〔1年〕

- ・夜寝るのが遅い児童がいる。
- ・家庭で学習する習慣が身につけている児童が増えてきた。子どもたちの力をさらに伸ばしていけるよう、宿題の内容や量を考えていきたい。
- ・家庭からのコメントをしっかりと書いて頂いているので、家庭でも意識をして生活し、子どもへの声かけをしてもらっているのがわかる。

〔2年〕

- ・低学年にしては、早く寝られていない子どもが多い。
- ・「30分以上勉強した」の割合が減っているのは、1学期の算数プリントのたし算・ひき算より2学期のかけ算の方が早く終わるからかもしれない。
- ・読む本が絵本から児童書に変わってきており、読書量が増えてきた。

〔3年〕

- ・6月よりも、寝るのがおそくなってきた児童がいる。
- ・読書が定着し、学習時間が45分以上となる児童が多くなってきている。

〔4年〕

- ・宿題以外に自主学習をしている児童もいるが、宿題だけやって満足してしまっている児童も多い。
- ・寒い時期になると、早寝早起きのリズムがくずれがちになる。

〔5年〕

- ・一日の学習時間が、1時間以上が5日間の児童が6月に比べて12月が大幅に増えている。自主勉強と読書習慣が定着してきたのかも知れない。
- ・就寝時間については、6月と変化はほとんどなく、同じ児童が10時までに寝れていない。塾などの習い事やそこで出される宿題で遅くなっている児童もいる。

〔6年〕

- ・「就寝時間」の項目については、習い事や塾などある中、意識しながら取り組んでいる。書いていただいているコメントも学習時間よりも忘れ物やテレビの時間、寝る時間などについてが多い。
- ・学習を60分以上できる子が少なく、40分～50分ぐらいの児童が多い。宿題+αの学習ができていない。

3. 今後の学校としての対応

- ・継続して家庭と協力しながら生活チェックを行うことで、早寝早起きなど良い生活習慣が身につけられるようになってきている。今後さらによく学校でも声かけをしていく。
- ・読書や家庭学習が定着してきた児童もかなり増えてきた。「家庭学習のてびき」を参考にして、宿題だけではなく、予習復習など家庭での学習時間を増やせるよう、その大切さを伝えていく。
- ・自主学習などの取り組みを奨励するとともに、見本となるノートを紹介することで児童の意欲を高めていく。
- ・「ぐんぐん学力アップ」の期間のみならず、日常的に学校と家庭での読書活動を充実させる工夫をする。

1. 生活チェックノートの結果から

